

第1学年 理科 学習指導案

日 時 2026 年 1 月 15 日 (木)
第5校時13:30~14:20
対 象 第1学年C組 30名
会 場 1 年 C 組 教 室

1 単元名

単元3 大地の成り立ちと変化 4章 大地の躍動と恵み 自然の探究 中学理科1(教育出版)

2 単元の目標

- ・自然がもたらす恵みおよび火山災害と地震災害について対策などを調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。
- ・自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、火山活動や地震発生の仕組みとの関係性などを見いだして表現すること。
- ・自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、化学的に探究しようとする態度を養うこと。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	①自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、火山活動や地震発生の仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	①自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

4 単元指導計画（全4時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	火山が噴火したり大地震が発生したりすると起きることを理解する。	火山の噴火により、何が噴出するのか、地震によって何が引き起こされるのか見いだす。	ア－① 【定期考査、フォームテスト】
2 本時	災害(地震、火山)対策方法を考え、災害対策と火山活動や地震発生に関連性を見だし、理解する。	災害対策と火山活動や地震発生に関連性を見だし、理解する。	ア－①【ワークシート】
3	事物・現象との関係性を見いだしで表現する。	班で話し合い、災害対策においての最善策を見いだす。	ウ－①【ワークシート】
4	災害対策を振り返る。	班で作成したスライドを発表する。	イー①【ワークシー】 ウ－①【スライド 発表】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



- ・情報収集を行う場面において、方法（教科書・便覧・タブレット端末）から生徒に選択させる。
- ・各生徒の興味に沿った課題設定を行わせることによって、主体的に自分のペースで学習に取り組ませることができる。
- ・「耐震、制震、免震のメリット・デメリット」について同じテーマを選択した者同士で集まって意見交換をすることで、自分の意見を班の中で発言しやすい環境をつくる。

6 本時の指導（全4時間中の2時間目）

（1）本時の目標

- ・災害(地震、火山)対策方法を考え、災害対策と火山活動や地震発生に関連性を見出し、理解する。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導 入 5 分	○地震が発生したときに起こることを復習する。 ○みんなにできる災害対策を考える。	□身近な事例を思い出させる。
展 開 40 分	○地震や火山噴火が起こりやすい地区に学校を作る場合にできる工夫を考える ○耐震、制震、免震のメリット・デメリットについて考える。 ◎自分を取り入れたいと思う方法を調べる。 ◎その他に取り入れたほうが良いと思う方法を各自で調べる	□地震や火山が噴火する仕組みを思い出させ、災害対策として何ができるか考えさせる。 □各自が選択しやすいように耐震、制震、免震のメリット・デメリットを伝える。 □教科書、便覧、Chromebookなどを自分で使い分けるように声掛けをする。 □意見が同じものだった同士で自分の考えをふまえて、



	○耐震、制震、免震を選んだ者で集まり、意見を交換する。	自分の考えを深める。
まとめ 5分	○次回以降は班で話し合い、発表をすることを伝える。 ○本時の振り返りを行う。	◆アー①【ワークシート】